



小浜西組町並み協議会 26年度 第3回役員会追加報告

3月12日（木）の役員会において、「小浜西組の街路整備は現在どうなっているのか、各区への説明はどうなっているのか」との質問がありました。澤口会長と中島副会長が市役所都市整備課の松崎主幹と坂下主事と面談をして、以下のような回答をいただきましたので報告いたします。



⇒小浜西組の街路整備の工事について、三丁町の通り（電線の地下埋設、消雪装置等）は、27・28年度に工事を行う予定です。丹後街道（電線的美装化等）については29年度から工事を行う予定をしています。



現在、三丁町については、各設計業者と地下埋設事業者等との打合せを行なっている段階で、丹後街道についても現在設計中です。従いまして、三丁町の飛鳥区、香取区での住民説明会は、設計がある程度まとまり次第、行なわなければいけないと考えています。

他の区については、今のところ説明する段階には至っておりません。

年度替わりでもあるので、新区長が決まり次第、西組8区の新区長と前区長に集まっていたいただき、現状を説明したいと思っています。そして必要に応じて区に向いて説明をいたします。

旧小浜小学校跡地について

最近、地域住民から「小浜小学校の跡地で、今何やっているの？」や「何の工事してるの？」とよくきかれますので、わかる範囲でお答えします。

小浜小学校跡地は現在、小浜市文化課の発注で景観改善工事が行なわれています。

ほうとうろう 元料亭・蓬嶋楼が公開される

小浜西組重伝建地区は、大きく商家町と茶屋町の2つに分かれます。

そのうち、茶屋町は、通称三丁町と呼ばれ、柳町、狛師町、寺町の3町から構成されています。柳町・狛師町の2町は江戸時代の町名ですが、寺町はお寺が多かったことから、そう呼ばれるようになったそうです。

その三丁町には、旧料亭の「蓬嶋楼（ほうとうろう）」が残っています。明治から昭和期にかけて営業されており、明治10(1877)年頃は「谷民(たんたみ)」という料亭だったそうです。

小浜西組町並み協議会では、毎夏執り行われる庚申堂の大祭にあわせて、「町家deフェスタ」を実施し、その時に所有者の方のご了解を得て、一日限りの特別公開を実施してきました。今回は、小浜市が所有者の方のご了解を得て、

土日・祝日に限り、4月18日(土)から無料で公開されています。

蓬嶋楼には、屏風や掛軸等、色々な調度品があり、お茶屋独特のしかけをもつ建物の特徴も見ることができます。西組に残る1つの宝物がまたこのような形で多くの方にご覧いただけることは、地元としても非常に喜ばしい限りです。



写真：小浜市教育委員会文化課提供

開館時間 午前10時～午後4時

公開日 土日・祝日 ※臨時休館となる場合もあります
※5月4日(月・祝)は臨時休館

投稿コーナー



町並み月報に地域住民が自由に投稿できるコーナーです。協議会までどしどしお寄せください。(町並み保存資料館ポストへ投函ください。)

加茂曲水宴

杉崎 康代

小浜町並み保存資料館でお世話になり、当番をさせて頂いております杉崎です。

この度は世界文化遺産であります、京都の上賀茂神社の献詠歌の最優秀賞に選ばれまして、4月12日の曲水宴に、歌人としてご奉仕させて頂き

ました。

清い水の流れる渉溪園にて行われ、雅楽が奏でられるなか、

題「春の月」

歌「淡あはと辛夷をすぐる春の月 母のたよりのかな文字照らす」

の歌の披講を頂く栄誉を授かりました。

神域は、春の風があらたかで心にしみる思いが致しました。姿も小袿の平安装束を着装し、晴れがましくも、晴れの気持ちで、小川のほとりに座り、短冊に歌をしたためました。これまで短歌を詠み続けてこられましたことに感謝をしております。

これからも短歌を通して小浜の良さを伝えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



曲水宴

庭園の小川の上流から杯を流し、自分の前を流れ過ぎるまでに歌人が即興で歌を詠む風流な行事。中国から伝わり、平安時代には宮中などで盛んに催された。

上賀茂神社では、1994年に神社の式年遷宮と平安遷都1200年を記念して復興され、以後毎年続けられている。

王朝貴族の遊びを再現した「賀茂曲水宴」では、衣冠や女房装束に身を包んだ歌人が歌を詠み、手元の短冊に筆で書き込む。香もたかれ、平安王朝のみやびやかな雰囲気をも堪能できる行事である。

小浜西組町並み協議会からのお知らせ

■ 五月人形と鯉のぼり展

平成27年4月25日(土)～5月16日(土)まで
午前9時～午後5時(火曜日休館)

